

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	(福) サポートバディ ぴよランド		
○保護者評価実施期間	R6年12月1日 ～ R6年12月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42 (回答者数)	29
○従業者評価実施期間	R7年2月1日 ～ R7年2月7日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ 集団を意識した行動がとれるようになる。 ・ 社会性を身に付けることが出来る。	・ 日々の活動の中で歩行訓練や音楽活動等を集団で行い周りに合わせられるように工夫している。	・ 引き続き集団行動での流れが身に付くようにしていく。
2	・ 職員同士のコミュニケーションが多く、事業所内の雰囲気が良い。利用児の情報共有がされている。	・ その日の出来ごとや振り返りを電子ツール等を利用して情報共有することで支援統一が図れる。	・ 今後も報連相を徹底していく。
3	・ 外部のボランティア団体との交流や季節ならではの活動が充実している為、利用児の笑顔がたくさん見られる。	・ 四季を感じられる活動を取り入れ、子ども達が楽しめるように工夫している。またお祭り参加等地域との関わりを持つ機会をつくっている。	・ 今後も楽しめるようなイベントを企画していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ 送迎二ーズに応えきれていない。	・ 学校迎えの時間が重なっており同時に送迎出来る車両と人員が不足している。	・ 必要な車両の整備と採用活用を強化し職員の確保に努めていく。
2	・ 小学1年生から高校3年生と幅が広く障がい特性も多種多様である為活動内容が制限されてしまうことがある。	・ 集団活動が身に付けられるようになるが1つ1つの行動に時間がかかるため弱みでもある。 ・ 年齢、特性で分けられると十分な職員が配置出来ない。	・ 特性に分かれて活動内容を改善したり、チーム分け人数も考慮し利用児が楽しく安全に活動に参加出来るようにしていく。
3	・ 保護者同士の交流する機会がない。	・ 父母会を作っていないため、保護者同士の交流する機会が少ない。	・ 保護者同士が交流出来る機会を設けていく。外部の保護者会を紹介したり、学校や市から得た情報を保護者に伝えていく。